

	中野区立緑野中学校 学校便り
	探求・創造・共生
平成30年 1月31日(水) 発行 第9号	

『自分の生き方を決定するもの』

校長 田代 雅規

12月から3年生の受験のために面接練習をしています。最後に将来の夢は、何かありますかと聞くと、大多数の生徒はまだ決まっていません、高校生活の中で自分にあった目標や仕事を見つけていきたいと思いますと答えます。

2015年にノーベル医学生理学・医学賞を授業した大村 智先生（北里大学特別荣誉教授）は、微生物の中から「エバーメクチン」という物質を見つけました。



大村先生は、いつも小さなポリ袋を持ち歩き、土を採取しては研究室に持ち帰り、5人のスタッフとともに微生物がつくる物質を調べる作業を繰り返していたと言います。その微生物は、あるゴルフ場近くの土から採取されました。このエバーメクチンを基にしてできた「イベルメクチン」という薬は、アフリカなどで蔓延している河川盲目症「オルコンセルカ症」の治療に無償で配布され、毎年2億人から3億人の人を救うことができていると言います。

しかし、大村先生は最初から研究者として、自分の研究を続けていたわけではありません。大村先生は山梨県の理科の教員を目指しましたが、採用されず社会人のスタートは、東京の定時制高校の理科の教員でした。ある夜、工場で働き、油がしみついたままの指で、真剣に試験を受けている高校生の姿を見て、胸を打たれ、自分も「もっと勉強したい。学び直そう」と思い、大学にもどり、大学院でさらに学び直したそうです。その後、ずっと「人の役に立つ物質を見つけたい」という強い思いで研究を続けてきたと言います。

誰にでも「自分はこれをしたい」と将来の生き方を決定するきっかけがあるものです。中学生では、まだその瞬間に出会えないのか、あるいは出会っていても気付かないのかもしれませんが。江戸時代、徳川幕府の頃は、武士の子は武士に、商人や百姓の子供は親と同じ職業につく時代でした。そんな中で、吉田松陰は、教え子たちに「**夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし**」と夢をもつことの大切さを子弟に教えていたと言います。

大村先生は、油がしみついた生徒の指先を見たことを、自分の生き方の方向性をかえるきっかけにしました。そのきっかけに、自分で気づき、自分で決めて行動したのだと思います。

1月13日(土)に1年生全員を対象に職業講話を実施しました。今年度は、日本赤十字社の笠井さんと本田技研工業の檜本さんを講師にお招きしました。お二人から、自分の夢や目標をみつけたきっかけをお話いただきました。これからも緑野中学校では、生徒一人一人が自分の夢や目標を見つけるために外部の人の講演会や体験活動を実施していきます。

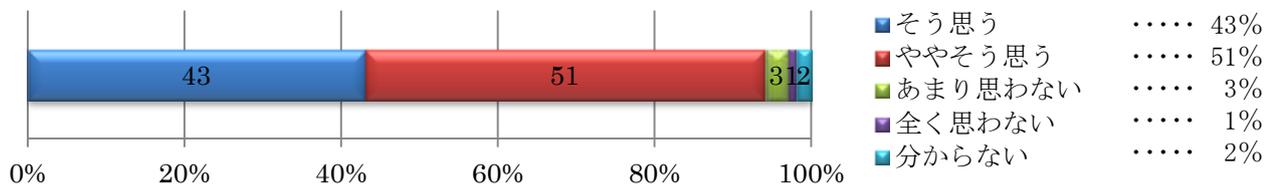
■保護者アンケートの集計結果について

今年度は、245 件（回答率 92%：昨年 93%）もの回答をいただきました。12 月の大変お忙しい中、アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

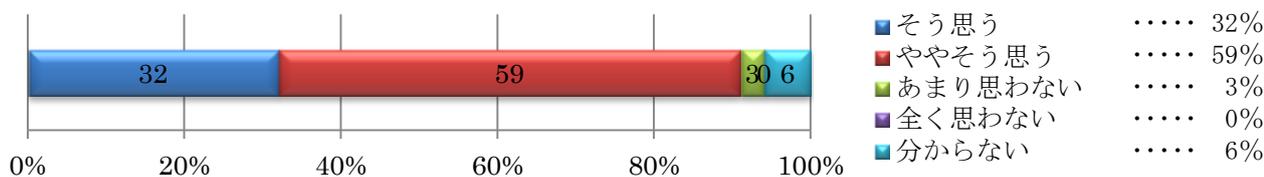
アンケートの各設問についての評価をご報告いたします。



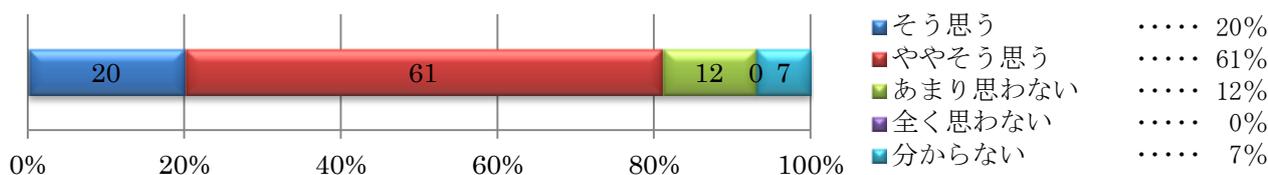
設問 1：お子様は充実した学校生活を送っている。



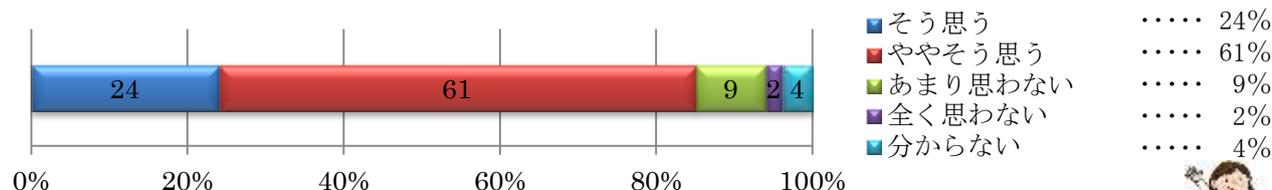
設問 2：学校は、特色ある教育活動を推進している。



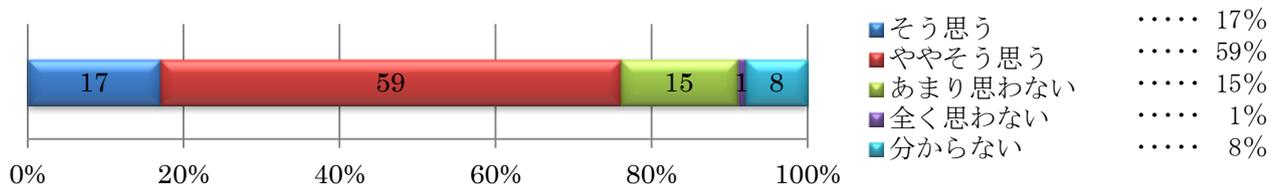
設問 3：学校は、一人ひとりの生徒のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。



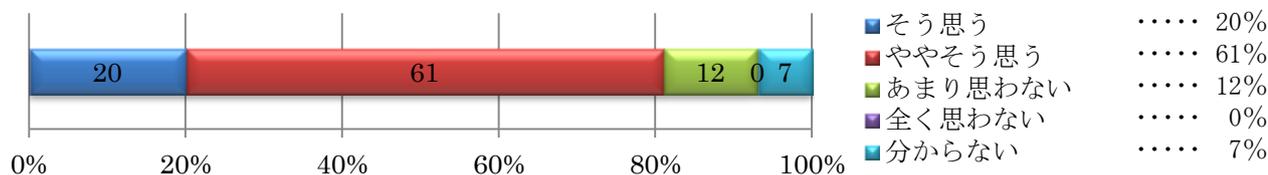
設問 4：学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。



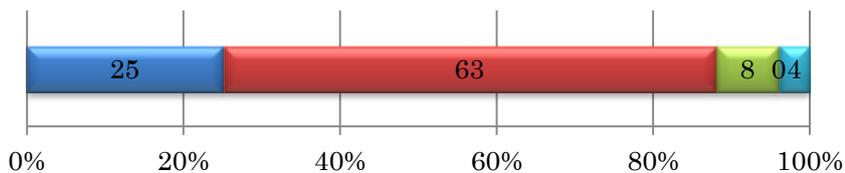
設問 5：学校は、生徒の関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。



設問 6：学校は、生徒に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。

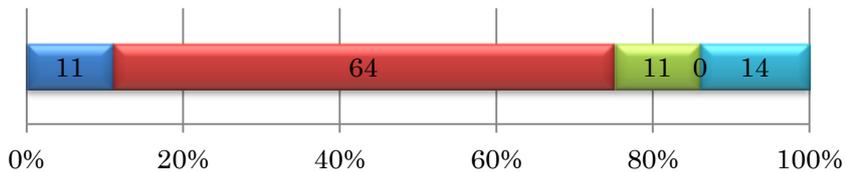


設問 7 : 学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。



- 25%
- 63%
- 8%
- 0%
- 4%

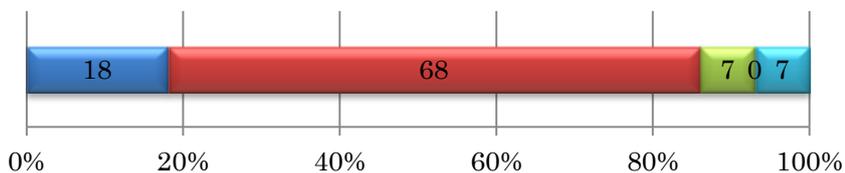
設問 8 : 学校は、環境問題にかかわる指導を行っている。



- 11%
- 64%
- 11%
- 0%
- 14%

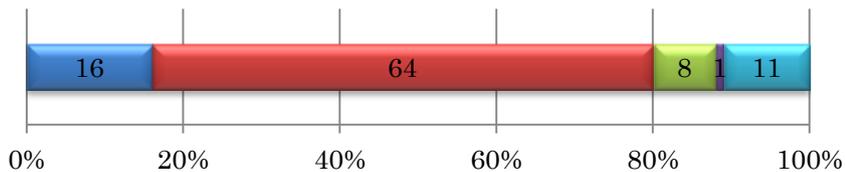


設問 9 : 学校は、思いやりや優しい心を育てている。



- 18%
- 68%
- 7%
- 0%
- 7%

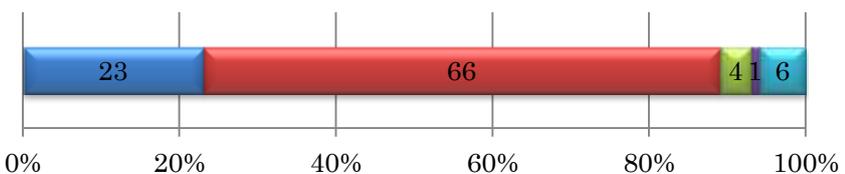
設問 10 : 学校は、生徒に自他の生命を大切にする態度を育てている。



- 16%
- 64%
- 8%
- 1%
- 11%

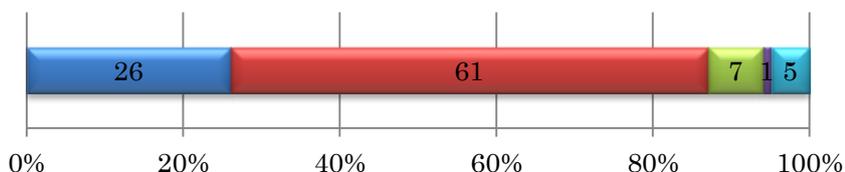


設問 11 : 学校は生徒に社会のルールを守る態度を育てている。



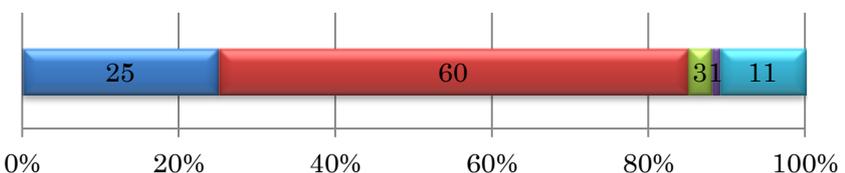
- 23%
- 66%
- 4%
- 1%
- 6%

設問 12 : 学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。



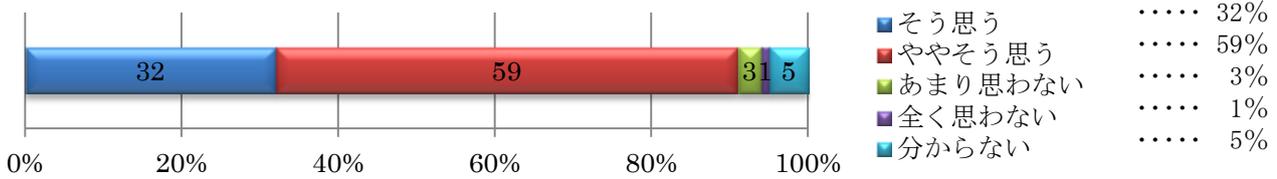
- 26%
- 61%
- 7%
- 1%
- 5%

設問 13 : 学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。

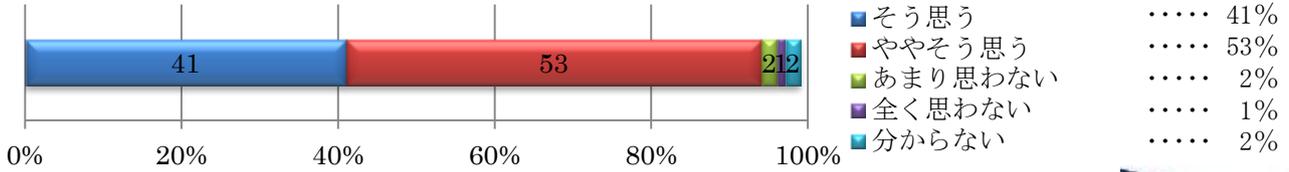


- 25%
- 60%
- 3%
- 1%
- 11%

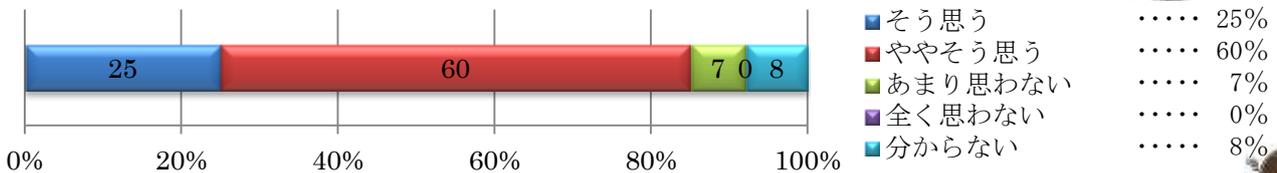
設問 14 : 学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。



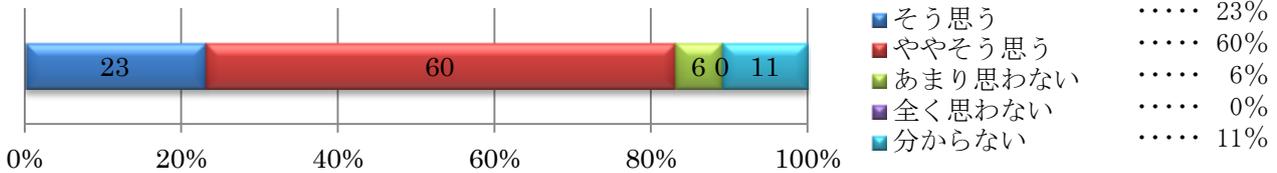
設問 15 : 学校は学校公開等の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。



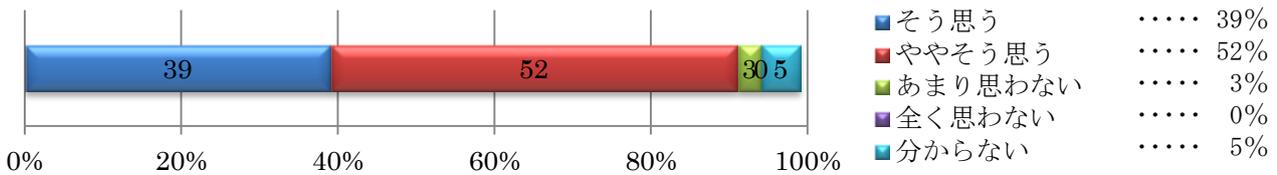
設問 16 : 学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。



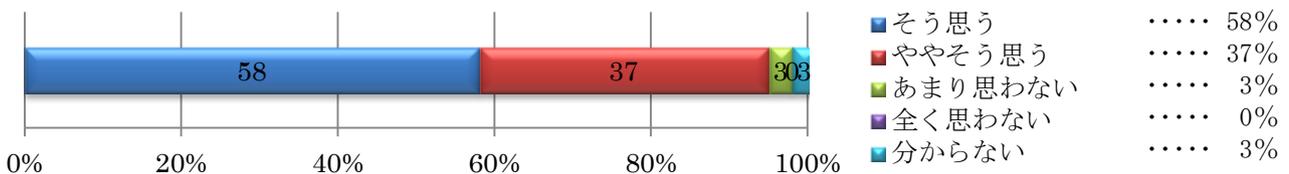
設問 17 : 学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。



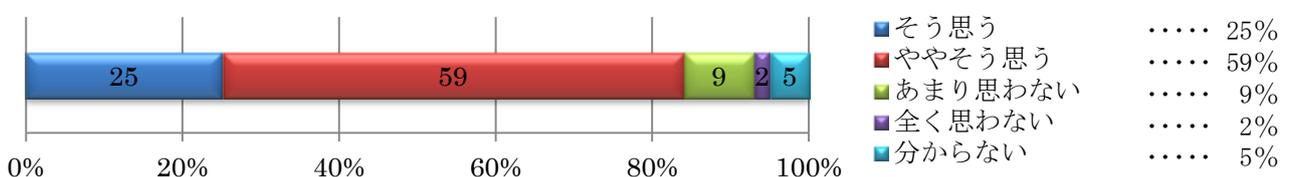
設問 18 : 学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。



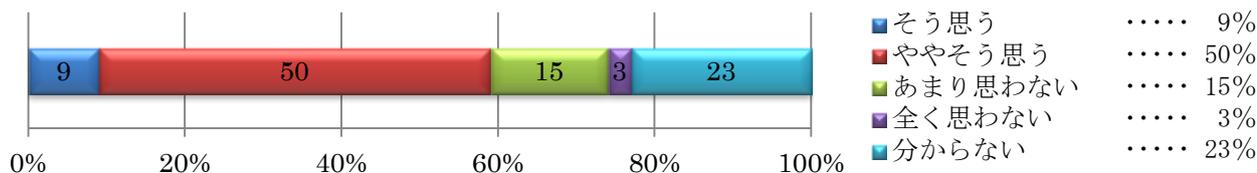
設問 19 : 教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。



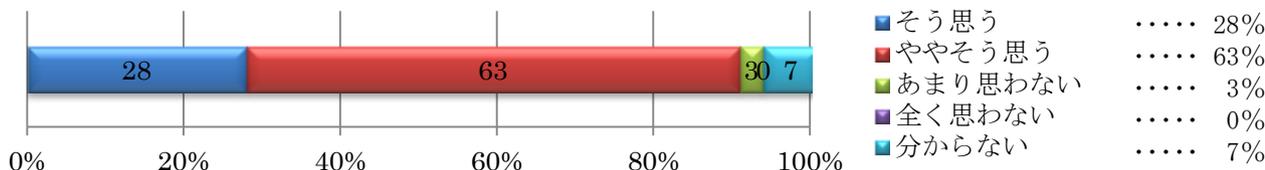
設問 20 : 学校は、一人ひとりの生徒の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。



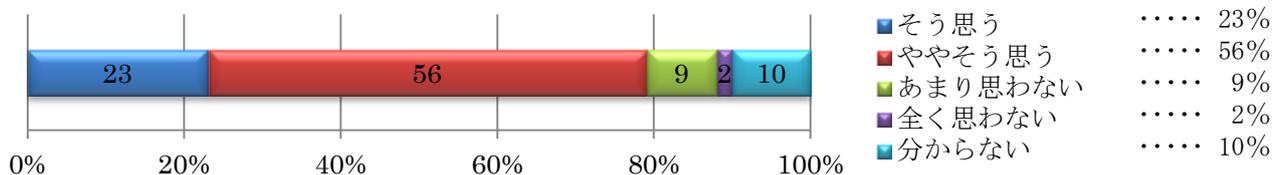
設問 21 : 学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して保護者への説明を行っている。



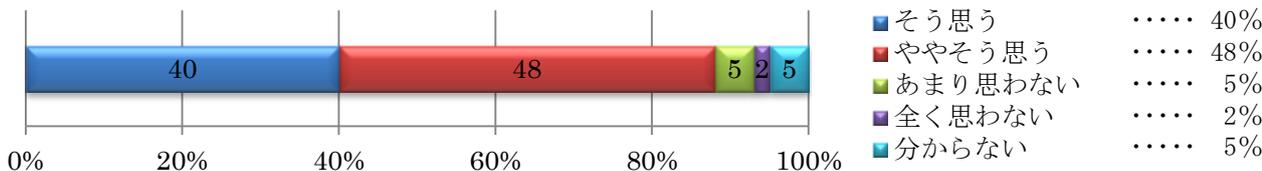
設問 22 : 学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。



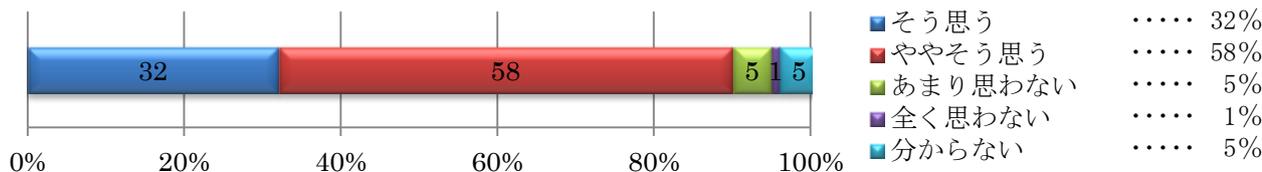
設問 23 : 学校は、生徒に将来に向けての生き方を考えさせ、計画的な進路指導を行っている。



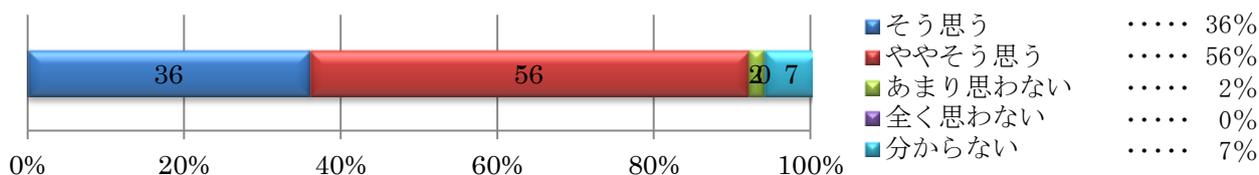
設問 24 : 学校は、部活動が充実するように努めている。



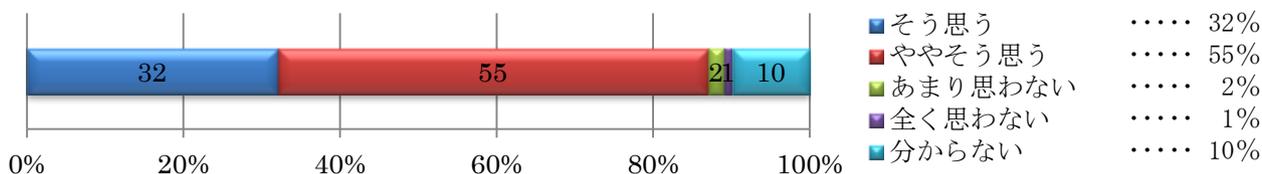
設問 25 : 学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。



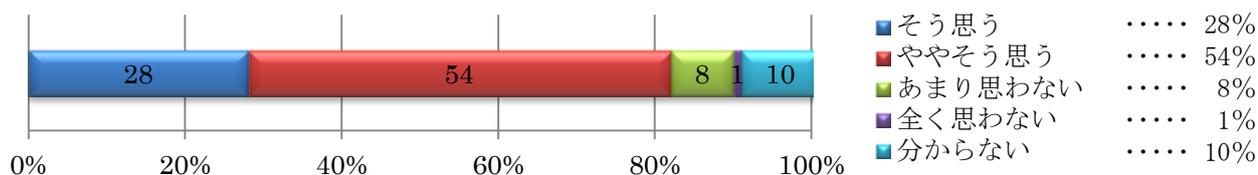
設問 26 : 学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通して、授業改善に努め、生徒の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。



設問 27 : 学校は、乗り入れ指導を通して、生徒の一人ひとりに応じた指導を行い、基礎的、基本的な学習内容の定着を図っている。



設問 28：学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者にわかりやすく伝えている。



＜保護者アンケートの結果の分析＞

◎肯定的評価「そう思う」と「ややそう思う」の合計が特に高かった項目

番号	質問項目	今年度	昨年度	増減
1	お子様は、充実した学校生活を送っている。	96%	88%	+8
2	学校は、特色ある教育活動を推進している。	97%	82%	+15
7	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	92%	79%	+13
9	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	93%	74%	+19
13	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受けとめ、学校改善に生かそうとしている。	95%	74%	+21
14	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	96%	81%	+15
15	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	97%	82%	+15
18	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	97%	85%	+12
19	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	97%	92%	+5
22	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	96%	83%	+13
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通して、授業改善に努め、生徒の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	98%	82%	+16
27	学校は、乗り入れ指導を通して、生徒の一人ひとりに応じた指導を行い、基礎的、基本的な学習内容の定着を図っている。	96%	75%	+21

保護者アンケートを見ると、今年度は全ての項目で肯定的評価が昨年度を上回りました。特に設問 13、設問 14、設問 18 からは、学校が生徒のために保護者や地域の方々と一緒に取り組んできていることを高く評価していただいていることが分かりました。

学校行事（体育祭、合唱コンクール、緑野合同進路説明会）やオリンピック・パラリンピック講演会、生徒会を中心とした自主的な活動等の特色ある緑野中の教育活動を評価していただいた結果です。授業の中でも、個人用タブレットを活用したり、デジタル教科書を利用したり、新しい取り組みを積極的に実践してきました。来年度も今年度の反省を生かして、さらに新しいことに挑戦していきます。

また、設問 26、設問 27 は、小中連携に関する項目でした。この2つの項目も昨年以上に高い評価をいただきました。今年度は、オープンキャンパスに、平和の森小学校の児童にも参加していただき、本来の学区域の小学生全員が参加しました。授業や部活動の体験、さらに生徒会が緑野中コマーシャルビデオを作成し、上映しました。乗り入れ指導も多くの保護者の方に内容を理解していただく目的で、緑野小学校、北原小学校、平和の森小学校には、土曜日の公開授業で実施しました。1月19日には、緑野小学校、北原小学校との3校の合同研究発表も実施しました。これらの取り組みが、保護者の方々に評価していただけたと思っています。来年度も今年以上に工夫・改善に取り組み、小中連携教育を推進していきます。

●肯定的評価が一番低かった項目

番号	質問項目	今年度	昨年度	増減
21	学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して保護者への説明を行っている。	77%	49%	+28

肯定的評価が一番低かった項目は、設問 21 の特別支援教育に関するものでした。学校では、特別支援教育に関して、特別支援だよりを発行したり、9月には、PTAと協力して特別支援教育に関する講演会を実施したりしました。その成果もあり、**<平成 27 年度：38%→平成 28 年度：49%→平成 29 年度：77%>**と徐々に学校が特別支援教育に関して、取り組んでいる姿勢を保護者の皆様にもご理解いただけてきていると思っています。

これからも、特別支援教育についてより多くの保護者の方に理解していただけるように丁寧な説明を続けていきます。

番号	質問項目	今年度	昨年度	増減
4	学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を見に付けさせている。	88%	75%	+13
5	学校は、生徒の関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている	83%	69%	+14

上記に示した項目は、学校として一番大切な授業に関する課題です。この2つの項目についても設問4は、**<平成 27 年度：70%→平成 28 年度：75%→平成 29 年度：88%>**、設問5は、**<平成 27 年度：61%→平成 28 年度：69%→平成 29 年度 83%>**と評価が上がってきています。

特に今年度は、2年生が中1ギャップの解消となり、1年生の時は3学級の少人数で授業ができていたのですが、40人の2学級になってしまいました。生徒たちの学習意欲の向上と基礎・基本の定着のために、学校独自の取り組みで、数学、英語だけでなく、国語、社会、理科、技術、家庭科の教科で少人数授業を1年間実施してきました。その成果もあり、2年生は落ち着いて授業が実施でき、7月に実施した東京都の学力調査でも5教科全てにおいて東京都の平均より5ポイント以上上回る結果を残すことができました。教員には、授業時間数が多くなり、大きな負担をかけましたが、その学校の努力を保護者の皆様からも高く評価していただけたと思っています。

また、1月19日の研究発表だけでなく、多くの教科で研究授業を行い、教員一人一人の指導力の向上に努めてきました。タブレットやデジタル教科書を活用した授業も国語、英語、数学、理科で実施してきました。来年度もさらに授業改善に向けて、全教員で取り組んでいきます。

<自由意見>

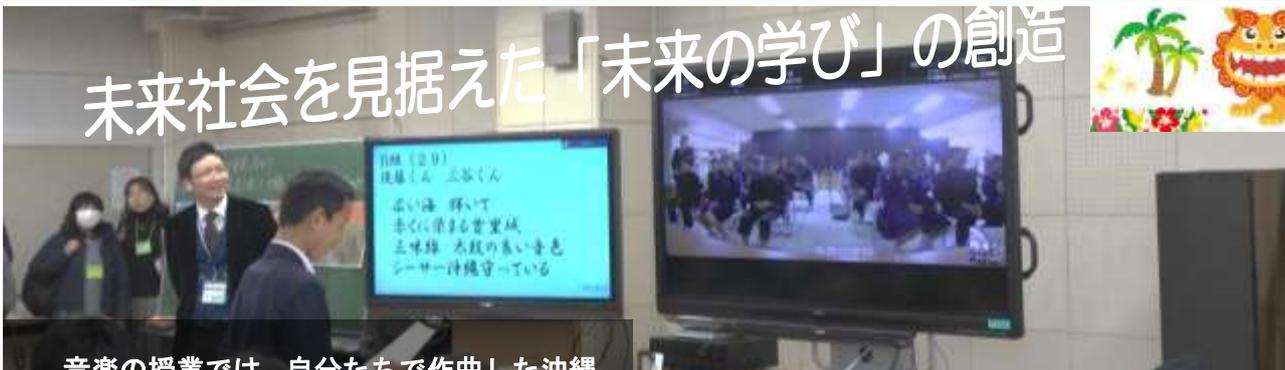
自由意見として、いくつかの意見をいただきました。学校の取り組みや教員の努力を多くの保護者の方からお褒めの言葉をいただきました。アンケートでいただいた意見は、全教員で内容を確認し、平成30年度の教育活動に生かしていきます。

- 学校の生徒用のトイレにもPTAと協力して、芳香剤等を整備して欲しい。
- 防寒用のセーターについて、検討して欲しい。
- 校庭の部活動が、冬になると暗くて危険なので、照明設備を完備して欲しい。
- 三者面談で子供がいると話しづらいこともあるので、二者面談も計画して欲しい。
- 体育祭の時に、鉢巻をしていると帽子がかぶりづらいので、生徒用のテントを整備して欲しい。等

の要望もありました。いただいたご意見については、学校全体で検討していきます。学校の整備については、予算がかかることもあり、教育委員会とも相談していかないと実現不可能なこともあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

中野区学校教育向上事業研究発表

未来社会を見据えた「未来の学び」の創造



音楽の授業では、自分たちで作曲した沖縄民謡を実際に沖縄の金武中学校の生徒さんたちに聴いてもらい、その感想を聞かせてもらいました。

授業の最後には、沖縄の曲を金武中学校の生徒が聞かせてくれました。未来の授業は、世界中がつながる授業になるかもしれません



緑野中学校は、1月19日（金）に平成28・29年度 中野区教育委員会「学校教育向上事業」として、緑野小学校・北原小学校と3校で研究発表会を実施しました。研究の内容としては、次期学習指導要領の目指す3つの「資質・能力」を取りあげ、これからの未来社会をたくましく生き抜くための新しい学びに取り組みました。

具体的な手法として

○主体的に学び、情報を活用して「考える授業」を展開する

『ICT・学校図書館活用型授業』

○対話して課題を解決するための「議論する授業」を展開する

『話し合い・協議型授業』

○専門分野のスペシャリストによる授業を展開する

『外部人材活用型授業』

当日は、緑野中学校では、1年A組（数学）、1年B組（音楽）、1年C組（理科）の授業を実施しました。数学では、課題解決のために生徒一人ひとりがタブレットを活用する授業、音楽では、タブレットで作曲した曲を沖縄の中学校とテレビ電話でつないで発表をする授業、理科ではタブレットで調べ、調べた内容をグループで話し合い発表しあう授業を実施しました。この他にも緑野小学校、北原小学校の児童が、緑野中学校に来て、社会や外国語活動で乗り入れ授業を実施しました。

研究発表には、群馬県・静岡県等からの参加者があり、合計400名以上になりました。